

第14回サンポートホール高松デビューリサイタル

出演者インタビュー

3月7日(土)第2部

先田 圭吾／クラリネット



PROFILE

徳島県出身。香川大学教育学部を経て、東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)、同大学院教育学研究科(修士課程)を続けて修了。

PROGRAM

- ・演奏会用小品／R.ガロワ＝モンブラン
- ・パストラレーレとスケルツォ／J.オーバン
- ・クラリネット・ソナタ 第2番 変ホ長調 より第1、2楽章
／J.ブラームス
- ・カルメン幻想曲／A.ローゼンブラット

Q. クラリネットとの出会いを教えてください。

中学校に入学して初めての部活動見学で吹奏楽部に行ったときです。音楽室の椅子に座ると当時3年生の先輩から突如「クラリネットやってみない!？」と言われたのが初めての出会いです。

Q. クラリネットの魅力とは?またソロ演奏で先田さんが大切にしていることは?

魅力は音域が広く、表現の幅も広いので主役にも名脇役にもなれるところです!それと、持ちこびがしやすいのも密かな魅力です...ソロを演奏する際はキラキラな音で、全てのお客様に一瞬でもクラリネットを魅力的に感じていただけるような演奏を心がけています。

Q. 先田さんは香川大学卒業後、東京学芸大学大学院を2025年に修了されています。

大学・大学院ではどのようなことを研究されていましたか?

大学院は2つの課程を修了しており、1つめの教職大学院では音楽科教育を中心に学びました。研究としては、鑑賞領域の特に比較聴取について実践と研究を行いました。2つめの修士課程では、学校外の音楽教育としてクラリネットレッスンに焦点を当て、意欲継続とレッスン、練習、本番の関連について研究をしてきました。これまでの研究は自身の演奏にも非常に役立っていると思います。

Q. 演奏家になりたい、「本格的にクラリネットを自分はやっていきたい!」と思われたのはいつでしたか?

大学院修士課程2年の秋です。実は東京に上京して初めの2年半は、このまま演奏とは離れた生活をするのかなというような日々を過ごしていました。しかし、学生最後の年になんとか「このままじゃダメだ!」と思ったことから覚醒を遂げ、その結果が秋ごろに実り現在に至ります(笑)。

Q. 今回のプログラムの見どころ・聴きどころについて教えてください。

クラリネットの特徴や魅力を全てと言って良いほどに味わえるプログラムだと思います。対照的な作品を取り上げているので、クラリネットのことをあまり知らない、普段クラシックは聴かないという方でも楽しんでいただけたらと思います！

Q. 今後演奏家として、もしくはそれ以外でも今後チャレンジしたいことはありますか？

とにかく沢山の場所や機会演奏をしたいです！！また、教えることも大好きなのでクラリネットのレッスンにももっと携わりたいです。それと、海外でも音楽を学んでみたいと最近は思います。気力と体力には自信があるので何でもやりたいです！！

Q. 好きな演奏家または好きな曲等を教えてください。

好きな作曲家はブラームスです。性格や生き方に共感できます。また、好きな曲はラフマニノフのピアノ協奏曲第2番の第2楽章です。冒頭にクラリネットのソロがあるのですが、言葉にできない程の美しさがあります。

Q. 先田さんは徳島県出身ですが、先田さんが思う香川県の魅力を教えてください！

文化事業に対して非常に熱心で、香川県にあるものを活かそうとする姿勢が本当に素敵です。今回の瀬戸内国際芸術祭にも足を運んだのですが、来ている人たちが芸術だけでなくその場所や雰囲気自体を愉しんでいて、これって香川ならではの魅力ではないかと思いました。

Q. 最後に今回のインタビューをご覧になった方へのメッセージをお願いします！

私は徳島県出身ですが、幼少期から月に1度は必ず家族で香川県に来ていました。そんな思い出の詰まった地でリサイタルができることを心から感謝しております。紆余曲折あったこれまでの音楽生活ですが、自分のこれまでの経験や学びを全て音楽に込めたいです。そして新たな音楽人生の第一歩を皆様と踏み出せることを心待ちにしています。会場でお会いしましょう！

第14回サポートホール高松デビューリサイタル

2026年3月7日(土)・8日(日)

14:00 開演 (13:20 開場)

サポートホール高松 4階 第1小ホール

♪3月7日(土)♪

中山笑里 (ユーフォニアム)、先田圭吾 (クラリネット)

♪3月8日(日)♪

三浦蒼衣 (マリンバ)、吉田夏希 (クラリネット)

【お問い合わせ】

サポートホール高松(公財)高松市文化芸術財団

087-825-5010 (平日 9:00~18:00)

